年間授業計画 新様式

高等学校 令和6年度（1学年用）教科

芸術（音楽） 科目 音楽 I

教科： 芸術（音楽） 科目： 音楽 I

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8組：前原 覚）

使用教科書：（音楽 I Tuuti Plus トゥッティ プラス（教育出版））

教科 芸術（音楽） の目標：

【知識及び技能】音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解すること。

【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えること。

【学びに向かう力、人間性等】「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、音楽的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞の活動の関連を図り、芸術音楽の特質を理解すると共に、創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わうことができる生徒に育てる。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると共に、創意工夫を生かした音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴く、演奏することができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		歌	器	創						
1 学期	1. 校歌斉唱 【知】本校校歌の生い立ちや、歌詞の意味を理解し、これからの3年間の学校生活に期待を込め歌詞を覚えて歌い身に付ける。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持って工夫する。 【主】校歌に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組む。	★発声練習 1. 校歌の歩み 2. 校章との関わり 3. 音取り 4. 歌詞を暗譜して斉唱	○			【知】本校校歌の生い立ちや、歌詞の意味を理解し、これからの3年間の学校生活に期待を込め歌詞を覚えて歌えるか。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】校歌に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組む。	○	○	○	3
	2. 鑑賞 ミュージカル映画 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や楽器表現の特徴を理解する。 【思】ミュージカルの名曲から曲想、発声などを知覚し、それらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりを考える。 【主】作品が実話に基づくことから、第二次世界大戦における時代の考察や登場人物の心情に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	★「サウンド・オブ・ミュージック」を通して、背景を理解して鑑賞し、名曲の生い立ちを理解し、そこから音楽の力、歌の力を感じて感想文をまとめる。 「エーデルワイス」のギターでの弾き語りを体験する。		○		【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や楽器表現の特徴を理解しようとしている。 【思】ミュージカルの曲想、発声などを知覚し、それらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりを考えようとする。 【主】作品が実話に基づくことから、第二次世界大戦における時代の考察や登場人物の心情に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	○	○	○	4
	3. 音楽 ギターの基本的な奏法とアンサンブル 【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組む。	★グレードごとにギター奏法の演習 ①ギターの基本事項 奏法の違い 基礎練習 ②「蝶々」「喜びの歌」他	○	○		【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組む。	○	○	○	4
2 学期	3. 音楽 ギターの基本的な奏法とアンサンブル 【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組む。	★グレードごとにギター奏法の演習 ③「雨降り」、「メスエット」などのギター2重奏 ④「一週間」「エーデルワイス」などの弾き語り	○	○		【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っているか。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしているか。	○	○	○	8
	5. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的にアンサンブルに取り組む。	①課題曲「小川高校校歌」の混声四部合唱 ②自由曲 読譜指導 パートリーダーによる各パートの音取りから全体の完成まで	○		○	【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしているか。	○	○	○	6
3 学期	6. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組む。	①自由曲 ☆①各クラスごと読譜指導 ②各クラスごとの練習 パートリーダーを中心にパート練習、全体練習	○		○	【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしているか。	○	○	○	4
	7. リズムアンサンブル 【知】正しいリズムの理解、それを手拍子表現できる。他者との調和を意識して、演奏する技能を身に付け表現できる。 【思】強弱、テンポ、テクスチャを知覚しそのように演奏するか表現位置を持っている。 【主】リズムパターンを理解し、他者とのアンサンブルを主体的・協働的に取り組む。	★クラッピング（手拍子）カルテット 第1番・第2番を用い、4パートに分けて、アンサンブルをする。		○		【知】正しいリズムの理解、それを手拍子表現できる。他者との調和を意識して、演奏する技能を身に付け表現できる。 【思】強弱、テンポ、テクスチャを知覚しそのように演奏するか表現位置を持っている。 【主】リズムパターンを理解し、他者とのアンサンブルを主体的・協働的に取り組もうとしているか。	○	○	○	6
									合計	35

年間授業計画 新様式

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

芸術（音楽） 科目 音楽 I

教科：芸術（音楽） 科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

教科担当者：（1～8組：前原 覚）

使用教科書：（音楽 I Tuuti Plus トゥッティ プラス（教育出版））

教科 芸術（音楽） の目標：

【知識及び技能】音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解すること。

【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関わりについて考えること。

【学びに向かう力、人間性等】「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、音楽的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞の活動の関連を図り、芸術音楽の特質を理解すると共に、創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わうことができる生徒に育てる。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると共に、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴く、演奏することができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創						
1 学 期	1. 歌唱 【知】英語の発音を理解し、楽曲に応じた発声で歌唱できるようにする。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】ビートルズの作品に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	★発声練習 ・「ホール・ニュー・ワールド」 ・「Let it be」 ・読譜力の育成補助			【知】英語の歌詞の意味を理解し、楽曲に応じた発声で歌唱し、シンコーペーションなどの歌詞を理解しながら歌う 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】作品の背景や社会に与えた影響などにも興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。				6	
	2. 鑑賞 三味線の種類と歴史について学ぶ 【知】三味線音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関り、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴を理解する。また、三味線の種類と使われる分野（長唄、浄瑠璃など）を理解し、特徴をまとめる。 【思】共通のイメージ持って、分野ごとの音色や奏法の違いを聞き分け理解する。 【主】三味線音楽に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	☆教科書の邦楽の分野から、三味線音楽の特集を組んだレジュメより ①沖繩から本土へ三線から三味線に ②上方から江戸へ ③歌舞伎音楽から江戸庶民の音楽へ ④西洋音楽や現代の音楽とコラボ			【知】三味線音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関り、及び様々な歌唱表現（歌舞伎・長唄・人形浄瑠璃・地唄など）や三味線音楽の表現の特徴を理解しようとしている 【思】共通のイメージ持って、分野ごとの音色や奏法の違い、三味線を使った西洋音楽の弦楽四重奏との比較を西洋音楽と邦楽の違いをまとめ、リズム、和声など明確な違いを理解する。 【主】三味線音楽に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。				4	
	3. 器楽 リコーダーの基本的な奏法とアンサンブル 【知】リコーダーを通して、楽器の音色やリズムとの関りについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にリコーダーの学習活動に取り組もうとしている。	★リコーダー二重奏 リコーダー導入曲 ※毎時間達成度をカードに記入 「いつも何度でも」 千と千尋の神隠しより他			【知】リコーダーを通して、楽器の音色やリズムとの関りについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫や2人1組で共通のイメージをもって曲の特徴を生かした表現がよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら演奏している。				8	
2 学 期	4. 器楽 ギターの基本的な奏法とアンサンブル 【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関りについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。	★グレードごとにギター奏法の演習（1年次より続き） ③ギター2重奏 「メソエット」「きらきら星」 「シューベルトの子守歌」 完成したら毎時間小テスト、合格印をカードに記入			【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関りについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関りについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。				18	
	5. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関りについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	①課題曲「夢みたものは」の混声四部合唱 ②音楽選択者による混声四部合唱 「夢みたものは」 パートリーダーによる各パートの音取りから全体の完成まで			【知】曲想と歌詞との関りについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。				12	
3 学 期	6. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関りについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	①①自由曲 各クラスごとの練習パートリーダーを中心にパート練習、全体練習 ②音楽選択者による混声四部合唱 「夢みたものは」 パートリーダーによる各パートの音取りから全体の完成まで			【知】曲想と歌詞との関りについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。				14	
	7. 鑑賞 ミュージカル映画 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関り、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴を理解する。 【思】ミュージカルの名曲から曲想、発声などを聞き、それらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関りについて考え、どのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】作品がビートル・ユゴーの文学作品「レ・ミゼラブル」に基づくことから、絶対王政時代におけるフランスの民衆蜂起など時代の考察や登場人物の心情に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	鑑賞ミュージカル映画「レ・ミゼラブル」の鑑賞をして、感想文の提出			【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関り、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴を理解している。 【思】ミュージカルの曲想、発声などを聞き、それらの働きを感受しながら知覚したことで感受したこととの関りについて考え、どのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】作品が文学作品で、時代背景やどこが1人ひとりどの点が「無情」か考えて、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				6	
									合計	68

【知識及び技能】音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解すること。

【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えること。

【学びに向かう力、人間性等】「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、音楽的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞の活動の関連を図り、芸術音楽の特質を理解すると共に、創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わうことができる生徒に育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると共に、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴く、演奏することができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創 賞						
1 学 期	楽典とソルフェージュ① 音楽理論（音楽系・保育系の進路 対象者） 音程・発想記号など 新曲視唱①	★新曲の視唱能力を育成する。 ・「コール・ユー・ブンゲン」 4度の音程から7度まで ・臨時記号が出てくる曲他読譜力の 育成補助	○			【知】正しい音程と正しいリズムで新曲に親しみ視唱する。正しい拍感を持ちテンポが一定で歌えるか。 【思】リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】楽譜のフィギアを図形として認識し、興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	幼児のための童謡の弾き語り 「はとぼっほ」「子ぎつね」他3 曲	童謡や簡単な曲に伴奏を付け、 弾き歌いの技術を身につける。 伴奏のパターンの在り方や練習 方法の在り方	○	○	○	【知】1・2年次に学習した音楽の基礎知識を生かし保育志望の生徒が現場で役に立つ技術や応用力を身に付ける。 【思】曲ごとにイメージ持って、和声などを意識して正しい弾き歌いができるか、練習方法を工夫する。 【主】自ら主体的・協働的に弾き歌いの学習活動に取り組む。	○	○	○	4
	楽典とソルフェージュ② 音楽理論（音楽系・保育系の進路 対象者） 音階と完全5度圏の理解 新曲視唱②リズム唱の基礎	読譜指導と音楽理論を演習問題 を解かせ、理解を深める。	○	○		【知】正しい音程と正しいリズムで新曲に親しみ視唱する。正しい拍感を持ちテンポが一定で歌えるか。 【思】リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】楽譜のフィギアを図形として認識し、興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	楽典とソルフェージュ③ 音階の種類と和音について 新曲視唱③リズム唱の発展	★新曲の視唱能力を育成する。 ・「コール・ユー・ブンゲン」 4度の音程から7度まで ・臨時記号が出てくる曲他読譜力の 育成補助	○	○		【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	①グループアンサンブルの練習と発表 バッハ作曲「G線上のアリア」 ②コンサート形式による「童謡2曲の弾き歌い発表」	①キーボードやピアノでアンサンブルを通して合奏技術を養う。 ②より高度な伴奏技術の実践を通して弾き歌いの技術を身につける。移調能力も身に付ける。	○	○	○	【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。より音楽的にまとめる能力を養う。 【思】合奏は他を聴き、合わせる技術やリズム感を働かせ正確かつ音楽的に仕上げる工夫をする。 【主】合奏曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
3 学 期	自由研究 課題発表（音楽家・アーティストについて）	自由研究と発表 興味・関心を持っている音楽家・アーティストについて資料を作成し映像を用いて紹介する。		○	○	【知】興味関心がどういった点にあり、説明できるか。 【思】発表資料の作成において聞き手が興味関心がわくような資料作りが出来ているか。 【主】主体的にまとめた資料を基にいかに関心わくような発表が出来たか	○	○	○	4
	合計									52

小川 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：小西優輝・古賀充代

使用教科書：（ 光村図書 書 I ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】古典、古筆等の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。

【学びに向かう力、人間性等】漢字の書体の変遷や仮名、漢字仮名交じり書の成立、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識 【表現】古典・古筆等の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 古典・古筆等に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	【表現】古典・古筆等の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 【鑑賞】古典・古筆等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	【表現】主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 【鑑賞】主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮					
○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 【鑑賞】古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 【鑑賞】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 【楷書】 孔子廟堂碑 九成宮醴泉銘 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ・教材 光村図書 書 I	○	○	○	【知識及び技能】 ・知識 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 【表現】古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【鑑賞】古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 【表現】主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 【鑑賞】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 【評価方法】 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	16
○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 争座位文稿	・指導事項 【楷書】 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭義下碑 【行書】 蘭亭序				【知識及び技能】 ・知識 【表現】古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【鑑賞】線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能				

2 学 期	<p>日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。</p> <p>・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>蜀素帖 風信帖</p> <p>上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。</p> <p>〔創作〕 これまで学んだ書体・書風を生かし、生徒各自が選んだ漢文(熟語等も含む)を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。</p> <p>・教材 光村図書 書 I</p>	○	○	<p>古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔評価方法〕 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	20
	<p>○単元 仮名の書</p> <p>【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。</p> <p>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。</p> <p>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。</p> <p>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。</p>	<p>・指導事項 仮名の成立と種類についての説明。時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い(横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど)を指導。 平仮名・変体仮名の指導。</p> <p>・教材 光村図書 書 I</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。</p> <p>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔評価方法〕 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	6
	<p>○単元 草書</p> <p>【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。</p> <p>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。</p> <p>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。</p> <p>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。</p>	<p>・指導事項 草書</p> <p>上記古典を学び、様々な書風、表現を学ばせる。</p> <p>〔創作〕 これまで学んだ仮名の書風を生かし、生徒各自が選んだ和歌を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。</p> <p>・教材 光村図書 書 I</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。</p> <p>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔評価方法〕 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	14
3 学 期	<p>○単元 漢字仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。</p>	<p>・指導事項 漢字仮名交じりの書の特徴、歴史について指導。漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を理解させる。また用具・用材の違いによる表現の違いも理解させる。</p>			<p>【知識及び技能】 ・知識 〔表現〕用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の</p>			6
	合 計							

<p>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解させる。</p> <p>・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫させる。</p> <p>〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。</p>	<p>創作を通して、作品制作の楽しさ、難しさ、表現の多様さを感じさせる。</p> <p>心に響く言葉、好きな言葉を素材に作品制作させる。</p> <p>作品鑑賞会により、生徒相互の意見を述べさせ、評価させる。</p>		<p>成立について理解している。</p> <p>・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 〔表現〕漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</p> <p>〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 〔表現〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔鑑賞〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>〔評価方法〕 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	<p>62</p>
--	--	--	---	-----------

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数： 単位 2

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8組：笹田 宝誠 ）

使用教科書：（美術 1【光村図書】 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 美術の基礎となる事項や造形的な学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門教科美術を学ぶ基礎となる資質・能力と美術を専門的に学ぼうとする態度を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 美術の意義や創造活動を追求するための基礎となる美学や造形心理学などの諸理論を形や色彩、技法、材料や用具などに関する知識との関連を図りながら自分らしく表現できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術作品や文化財、作家などについて研究したり、文化的な視野に立った美術批評をしたりするなどして、美術や美術文化を尊重する態度を養う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映					
1 学 期	・文化祭のポスターデザイン 【知】意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわす。 【思】心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ、文化祭らしいポスターとして表現する。 【主】主体的にポスターの役割を理解し、配色と構成を工夫しながら創造的に作品制作に取り組む。	・指導事項 ○イラストレーションだけでなく文字を工夫し表現することでも完成度の高いポスターデザインができることを理解させる。 ○ポスターデザインに必須なレタリングに工夫し表現することで、ポスターにおける文字情報の重要さを理解させる。 ・教材 教科書、A3セントイラストレーションボード、アクリル絵の具、鉛筆	○	○	○	【知】形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、わかりやすく効果的な伝達のデザインを、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 【思】伝える情報の内容や相手などから主題を生成し、単純化や省略、強調などの効果や、わかりやすさと美しさの調和などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 【主】主体的に誰に何を伝えるかを考え、わかりやすく効果的なポスターのデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
2 学 期	・スーパーリアリズム（河原の石） 【知】石粉粘土や絵の具を工夫しながら使用することで石のもつ量感、色を本物らしく表現する。 【思】本物の石をよく観察し本物らしく再現することで身近にあるものの美に関心をもつ。 【主】主体的に石の量感や色について考え、石粉粘土、絵の具、ヘラを工夫し本物らしく石を制作する。	・指導事項 ○本物の石と同じ大きさ、量感を再現させる。 ○絵の具、ヘラなど正しい道具の使用方法を理解させる。 ○形や色、材料、構造などを工夫し、見通しをもって制作させる。 ・教材 教科書、石粉粘土、アクリル絵の具、アルミホイル、新聞紙	○	○	○	【知】形や色、材料、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、石の量感、色など石の特性を理解している。 【思】さまざまな石を比較して、石の持つ形や色など自然の物の美しさを感じ取り、形や色、材料、質感の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主】主体的に石の持つ自然の美を通して、身近な物の美しさなどを感じ取り、形や色、材料、質感の工夫などについて考え制作活動に取り組もうとしている。	○	○	○	15
3 学 期	・パッケージデザイン 【知】形や色などが感情にもたらす効果を理解し、ターゲットを意識し美しいパッケージデザインを制作する。 【思】展開図から包むものの構造を理解し、自分らしいパッケージデザインの表現の構想を練る。 【主】主体的に想像、感じ取ったことや考えたことなどをもとにしたパッケージデザインの創造活動に取り組む。	・指導事項 ○年齢・性別などターゲットを意識しデザインをする。 ○用途に合わせた効果的な配色計画を行わせる。 ○あらわしたいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫させパッケージを制作させる。 ・教材 教科書、ケント紙、アクリル絵の具、鉛筆、木工ボンド	○	○	○	【知】形や色彩の性質やそれらが感情にもたらす効果、伝達の意図や目的に求められる造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 【思】伝達の意図や目的に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 【主】伝達する内容や目的をパッケージデザインで表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	10
合計										35